第1号議案

令　和　４　年　度　事　業　報　告　書　~~(案)~~

法人の名称　　特定非営利活動法人　きよかわアウトドアスポーツクラブ

１　事業の成果

本年度も、新型コロナ感染症の影響を受け活動が停滞した年であった。3年も活動が停滞していると、ややもちなおした状況から活動のありがたさを感じた1年であった。法人認可後19年が経過した。引き続き県民へのカヌーを中心としたアウトドアスポーツの事業を展開した。コロナ禍の影響で指導依頼は少なくなったが地元小学校、県内高等学校、社会貢献に力を入れているボーイスカウト等の指導依頼があった。地元公益財団法人はコロナ禍の中であったが活動を再開し感染症対策を講じながら一部変更しながら実施した。

総合型地域スポーツクラブとして平成２１年３月に神奈川県から認定されてから、本年度も、カヌー、ノルディックウォーキング、リバートレッキング、アウトドアアーチェリー、クラフト・アウトドアクッキング、グラウンド・ゴルフ部門の活動が独自性をもって計画したがコロナ前の活動には戻らず思うような活動は展開できなかった。

２　事業内容

特定非営利活動に関する事業

(1)　スポーツに関する指導・育成事業

ア　会員事業

①　内容　**カヌー部門**は、カヌー・カヤックの技術習得を目指し、基本パドリング・ステップアップ講習会等を開催したがコロナ禍の影響でや天候で中止したイベントもあった。宮ヶ瀬湖での定例開催のほかには県外遠征活動等実施した。

アウトドアアーチェリー部門は、活動場所の制約があり、町田市内のアーチェリー場で活動した。アーチェリー愛好者が徐々に増えはじめている。

トレッキング部門は、リバートレッキングとノルディックウォーキングがあり、リバートレッキングは着替え等の場所の確保の問題から活動することが限られた。ノルディックウォーキングについては、コロナ禍の影響受けながらもで県内外各地の場所を歩くことができた。

クラフト・アウトドアクッキング部門は、しめ縄、正月飾りなどを制作した。鍋料理等感染拡大防止の観点から中止した。

グラウンド・ゴルフ部門は、月１回の定例会の他、近隣のグラウンド・ゴルフ愛好家の皆さんに指導をいただき定期的に活動でき、グラウンド・ゴルフを展開している。愛好者拡大が課題である。

②　日時　別紙事業報告資料１「クラブ活動事業」のとおり　延べ４８回（前年度２４回）

③　場所　宮ケ瀬本湖、町田フィールドアーチェリー場、宮ケ瀬湖小中沢など

④　従事者（会員）人員　５７６名(前年度２８６名)

⑤　対象者　従事者に同じ

⑥　支出額　１０１．８万円

イ　活動支援事業

①　内容　カヌー・カヤックを体験したい県内学校や公共団体及び民間団体からの指導依頼に応じて、広くカヌーを愛好する人の指導・育成を行った。コロナ禍の影響受けたが昨年度より指導依頼は増加し参加者も大幅に増加した。クラブ独自で感染症対策を講じアルコール消毒など参加者の安全・安心対策をし活動の支援を行った。しかしながらコロナ前の状況には戻っていない。

②　日時　別紙事業報告資料１「活動支援事業」のとおり　延べ３８日（前年度１０日）

③　場所　宮ケ瀬湖畔親水池、宮ヶ瀬湖本湖

④　従事者（会員）人員１５４名（前年度３７名）

⑤　対象者　延べ１８４６名（前年度４９４名）

⑥　支出額　１１１，２万円